



第24号
発行所
大根占町役場
電話 大根占1番
編集兼発行人
吉 里 宮 長
印刷所
鹿屋市曾田町6647
南日本新聞社鹿屋支社
電話88・98・126番

多難な年でした！

ご協力を深謝します

町長 宮里 吉

昭和29年をかえりみて

昭和二十九年を数に遡ると、多事多難な一年の歩みを感じざるを得ない。昨年は、戦後復興の途程を定めて、経済の発展を期すべく、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力した。今や、町政の発展に、町民の協力が不可欠である。昨年は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力した。今や、町政の発展に、町民の協力が不可欠である。昨年は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力した。今や、町政の発展に、町民の協力が不可欠である。

町議会だより

十一月八日第八回臨時町議会が開会された。その結果、町議会の決意を町民に知らせる。町議会の決意は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。町議会の決意は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。町議会の決意は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。

12月の行事

- 2日 鹿屋消防団消防操法競技会(本町消防団出場)
- 4日 町主催慰霊祭(於大根占小)
- 7日 円芸振興会役員会
- 28日 日用納
- 3日 回目デフテリヤ予防注射
- 9日 午前 大根占 午後 神川
- 10日 午前 池田 午後 徳利原
- 秋期清潔検査 13日から25日まで(日曜を除く)
- 町議会 2日から7日まで(日曜を除く)



湧き上るよろこび 高校立移管祝賀行事

町民の祝賀行事は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。町民の祝賀行事は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。町民の祝賀行事は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。

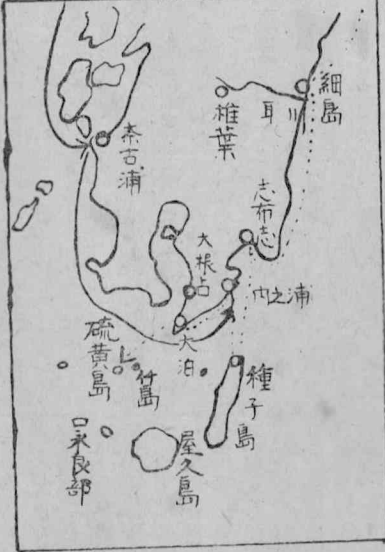
賠償金 六、三七七万円

本年度の賠償金は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。本年度の賠償金は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。本年度の賠償金は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。



大根占町の郷土史 (第五回)

五、平家落人と大根占
大根占の郷土史は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。大根占の郷土史は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。大根占の郷土史は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。



大根占の郷土史は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。大根占の郷土史は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。大根占の郷土史は、町民の協力を得て、町政の発展に日夜努力することである。

村の敗良普及婦や町内の技術員
 般八十名が参加、南北製作所の
 田技師を講師に講習を受け、引
 つづき、肝属南部地区改良會
 長松下技師が審査長となり調査
 を行い、次の諸氏が入選した。
 お木原郎落の原田清雄、その
 力耕振機も出場、審査したが、そ
 の威力には、改良の目をみけ
 った。
 一等 七五、八五 落司 瀧川男
 二等 七五、四〇 竹下 藏市
 二等 七三、八〇 宮原喜八郎
 二等 七三、八〇 牧原 清徳
 三等 七一、二〇 寺田 達夫
 三等 六八、八〇 六反田 栄
 三等 六八、二〇 水口 正助
 三等 六三、四〇 横山 直
 三等 六二、八〇 藤岡 謙
 三等 六二、六〇 水口 正夫
 × × × × × × ×